

2024~2025年度クラブ目標

『思いやりがある 感謝のロータリー』

創立1986年



2024-25年度国際ロータリーテーマ

会長 阿部 克弘  
幹事 十文字 光伸

## 第1833回例会

令和6年12月5日 (12:30~13:30)



○ソング

- 君が代、奉仕の理想

○ビジター

公益財団法人ジョイセフホワイトリボン統括リーダー 森田由紀様

○スマイルBOX

- 阿部克弘会長 (本日はジョイセフの森田由紀様、ご来訪そして卓話をいただき有難うございました。)
- 十文字光伸幹事 (本日は国際協力NGOジョイセフ、森田由紀様、卓話ありがとうございました。)
- 中目公英会員 (林利勝さん、藤田弥吾衛さんに誘われ、JCよりも早く、RCに入会し、30年の永年表彰をいただくまでになりました。これからもどうぞよろしくお願い致します。)
- 大竹憂子会員 (あさって12月7日、56才の誕生日なので先にスマイルします。)
- 居川孝男会員 (本日無事68才の誕生日を迎える事が出来ました。シルバーパーティーまであと2年健康に留意して頑張りたいと思います。)
- 村上堅二会員 (誕生日、ありがとうございます。)
- 永野文雄会員 (卓話の森田由紀様、ありがとうございました。)
- 金田昇会員 (森田様、本日は卓話ありがとうございました。出張の為、リモート出席しております。)
- 宮本多可夫会員 (本日は森田由紀ホワイトリボン統括リーダー様、ようこそ。卓話ありがとうございました。)

▶第1833回例会出席状況 (R6年12月5日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	53名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	19名
Ⓓ 全正会員数	72名
Ⓒ Ⓐの出席者数	30名
Ⓔ Ⓐのメイクアップ者数	0名
Ⓔ Ⓑの出席者数	17名
Ⓒ = Ⓒ + Ⓔ + Ⓔ (メイクアップ補填後の出席会員数)	47名
Ⓕ = Ⓓ - (Ⓑ - Ⓔ)	70
Ⓖ = Ⓒ / Ⓕ × 100 (例会出席率)	67.1%

11月28日 ~本日のメニュー~



- ・彩野菜
- ・もつ煮込み
- ・豚肉と木耳の中華風卵炒め
- ・白河産こしひかり
- ・椎茸と葱のお吸い物
- ・香の物
- ・果物

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30~19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

# 本日のプログラム

## ■会長の時間

阿部克弘会長



皆さん、こんにちは。  
本日も多くの会員の皆様にお忙しい中、ご参加をいただきまして有難うございます。

まず初めに本日のお客様を紹介させていただきますと思います。

「公益財団法人ジョイセフ」パートナーシップグループ・ファンドレイジング推進統括リーダーであられます森田由紀様です。森田様には後ほど、卓話を頂戴する予定となっておりますので、皆様楽しみにしておいて貰えればと思います。

さて今年も12月に入りました。お正月を迎えたかなと思ったら、もうジングルベルを聞いて来年の正月を迎える様になりました。本当に月日が経つのが早く、特に私の場合はとても早く感じられます。7月から私の年度になりもう今月が終われば半年が経過した事になり残り半年になります。個人的には早く終わって貰いたいとは思っておりますが、その後半も行事が目白押しにありますので、皆様の協力を仰ぎながら一つ一つこなして行かなくてはなりませんので、どうか宜しくお願い致します。

先週は新会員の歓迎会という事で皆様と共にお酒を飲みながら懇親を深めましたが、今日は新会員の方、それから中堅の方、ベテランの会員さんを前にして既にご承知の方もいらっしゃると思いますが、メイクアップについてお話をさせていただければと思います。当然、例会に出席して貰えるのが本来の姿ですが、どうしても例会に出席できない場合は他のクラブに行ってメイクアップをすとか、地区、分区の行事に参加して欠席した例会の代わりに充てて貰うとか、それからクラブの委員会に出て貰えれば例会の代わりという事になりますので、ぜひメイクアップしていただき出席になればと思っています。プログラム委員会の大住委員長や出席委員会の吉成委員長が主席率60パーセントを目指していただいておりますが、なかなか例会だけでは60パーセントになるのは大変難しいところもございまして、できれば委員会や分区の間もお話ししましたがインターシティミーティングとかそういうものに参加していただく。また地区の行事にも参加すればメイクアップになりますので、ぜひそういうものを活用していただき出席率60パーセントをクリアして貰えれば大変有難いと思います。簡単ですがメイクアップについてお話をさせていただきました。宜しくお願い

願いたいと思います。

次週は年次総会があります。そして翌々週はクリスマス例会になります。それが終了して今年のロータリークラブの行事は終わりになりますので、多くの会員さんに参加していただき来年に向けて頑張っ貰えればと思っています。

本日もいろいろセレモニーがありますので、会長の時間は以上とさせていただきます。本日も宜しくお願い致します。有難うございました。

## ■幹事報告書

十文字光伸幹事



○白河市赤十字奉仕団委員長 安澤 荘一：令和6年度「NHK海外たすけあい」キャンペーン実施にかかる街頭募金への協力について

○日本事務局業務推進室：疾病予防と治療月間リソースのご案内

○ガバナー 早川敬介：後期地区委員会総会のご案内

## ■表彰状伝達

○ロータリー財団寄付表彰年次寄付恒久基金第10位

白河西ロータリークラブ

○米山功労者マルチプル第4回 金田昇会員

○マルチプル・ポール・ハリス・フェロー第7回

金田昇会員

○会員数純増クラブ第3位 白河西ロータリークラブ

○新会員入会者数上位クラブ第5位

白河西ロータリークラブ



○永年在籍ロータリアン 表彰30年  
中目公英殿



○米山功労者マルチプル 第4回  
安部和夫殿



○米山功労者マルチプル 第3回  
遠藤 敦殿



○マルチプル・ポール・ハリス・フェロー第2回  
山口 治殿

## ■各委員会報告

### ○雑誌広報渉外委員会

瀬谷隆志委員長



それでは、『ロータリーの友』の  
今月の読みどころをお伝えしたいと  
思います。まず初めに、横メニ  
ューのほうから開いていただきまし  
て、今回特集が7ページにございま  
す。12月は疾病予防と治療月間とい

うことで、先進国の中でも高度な医療技術を持つ日本  
ですが、実は様々な課題があるということがこの中に  
書いてありました。医師不足とか、地域格差が健康と  
福祉に大きな影響を及ぼしている内容となっております。  
この分野において、我々ロータリークラブとして  
はどのような貢献ができるかということを少し考えさ  
せられるような内容になっておりますので、ご一読い  
ただければと思います。あと「地域医療の今」という  
8ページの平均寿命ランキング、下のほうにあるんで  
すが、男性がワースト下から3番目です。女性が下か  
ら2番目というちょっとショッキングな数字なんかも  
出ておりますので、ご覧いただければと思います。続  
きまして、反対側の縦メニューのほうなんですが、ペ  
ージをめくっていただいて1枚目に石川ロータリーク  
ラブの中村さんが大きく出ております。その後ですが、  
白血病になった方の闘病生活のお話とか、その次では  
9ページでは、横浜の商店街再生に尽くす方、牛山さ  
んという方が載っております。これを読んでは、  
皆さん「伊勢佐木町ブルース」っていうほうがイメ  
ージしやすいのかなと、その伊勢佐木を盛り上げてる方  
のお話で、一番最後にロータリーで何かを頼まれたら、  
イエスカ、はいか、喜んでという返事しかないと言わ  
れてるところが一番印象に残りました。

## ■本日のプログラム

### ○ゲスト卓話紹介

兼子聡会員

本日は「公益財団法人ジョイセフ」さんから森田さ  
んにお越しをいただきましてお話をさせていただこうか  
と思っております。お手元のほうに資料が沢山あるか  
と思うんですけども、もともとわたくし自身がホワイト  
トリボンランのお話をさせていただく中でお話が進み  
まして、今のところ思い出のランドセルということで  
セクシャル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツとい  
うののお話もさせていただくことで、いろいろと多岐に  
渡ったお話になると思いますけども、卓話のほうよろ  
しくお願いいたします。

### ○国際協力NGO「公益財団法人ジョイセフ」

パートナーシップグループファンドレイジング

推進統括リーダー

森田由紀様



皆様、初めまして。今日は、お招  
きいただきありがとうございます。  
そして、ロータリークラブの例会、  
誠におめでとうございます。わたく  
しは本日、兼子さんご紹介いただき  
ましたとおり東京から参りました。

「公益財団法人ジョイセフ」という国際協力NGOで  
す。今日のお話を伺って皆様が日頃から国際的にもご  
支援をされていらっしゃるということもお伺いできた  
ので、今日は気合を入れてお話をさせていただきたい  
と思います。どうぞお耳を傾けていただけたらと思い  
ます。よろしくお祈りします。ちょっと画面共有をさ  
せていただいて、オンラインの方もいらっしゃるとい  
うことですので、よろしくお祈りします。私たちは  
「思い出のランドセルギフト」ということでランドセ  
ルの寄付の集めていただく活動にも過去にも支援をこ  
ちらのロータリーさんのほうでしていただいたという  
ことで、大変失礼いたしました。ロータリークラブさ  
んの違う名前を他のスタッフから聞いておまして、  
もう既にこれまでもご縁があったということで、今日  
お邪魔出来て本当に嬉しく思います。ありがとうございます。  
では、改めて「ジョイセフ」のお話をさせて  
いただきます。私たちは、国際協力NGOということ  
で、どんな活動をしているかということなんですけども、  
このジョイセフという名前がどういった由来でき  
ているか。私たちは日本生まれの国際協力NGOです。  
海外からの日本の支社というのものもあるんですけども、  
私たちは日本で生まれた56年目になる国際協力NGO  
です。「ジョイセフ」は女性が、選択できる世界をと  
いうことで、主に女性を支援する組織として生まれま  
した。「ジョイセフ」はセクシャル・リプロダクティ  
ブ・ヘルス/ライツ、この言葉を今日是非皆さん覚え  
て帰っていただきたいと思うんですが、なんの事やと  
いうことで、まだまだ知られていないんですけども、  
性と生殖。この性と生殖に関する健康と権利に関する  
取り組みを行ってます。特に困難な状況にある女性や  
女の子の命の健康を守るための活動をしている日本生  
まれ国際協力NGOです。これまでは世界43か国の  
支援を行ってまいりました。SDGsに関しては、人  
に関わる場所ですが、すべての人に健康と福祉を、  
そしてジェンダー平等に関する実現ということでは、  
そして、パートナーシップ。私たちの強みはパートナ  
ーシップです。地域コミュニティとの連携ということ

が、私たちの強みとなっております。そして、SRHRとは何ぞやというところですが、このSRHRに関する取り組みのノートを一部ちょっとお配りしております。「性と生殖に関する健康と権利」ということはいったいどういうことかということ、私たち一人一人が適切な認識を持って自己決定権を持つということです。性は自分の性自認の性、体と心の性があると思います。その性。そして生殖。子供を産むか産まないかは、誰でも自分の自己決定権がありますという、難しく言うと人権に関するところでもあります。これは国際スタンダードということを知っていただけたらと思います。必要なヘルスケアを受けることができるということ。そして、自らの尊厳と健康を守れるということ。自分が決定権を持っていけるということに関する取り組みです。それは何を示しているかということ、ここに今キーワードと書いていることなんですけども、わかりやすく言うと月経や中絶など。また、婦人科の疾患、今で言うと子宮頸がんとかも女性特有の健康課題にがん、予防できるがんというのがありますが、またはこのセックス。そして、不妊や多様な性、LGBTと言われるそういった性の方達の事も含めて、そういった妊娠やセックスレス、ボディイメージ、妊娠そして性感染症、近年話題になっておりますが性暴力やデートDVというような、あとはHIVや出産をするかしないかという、こういった事はすべてにおいて自己決定権が誰にもあるという、ことを相手に委ねる、相手に合わせるということではなくて、自分の決定権がありますということです。誰もが自分で守っていけるものですよということをお伝えしております。そして、今日メインでまたお話しするホワイトリボン、これは今日私もピンバッチしてるんですけども、是非皆さんにもこれからスーツ着た時は付けていただきたいなと思うんですが、このホワイトリボンってウェルネスリボンなんですけど、皆さんはピンクリボンは乳がんのご存じだったり、ちょっと前はパープルリボンは暴力をなくすというような話、いろいろあると思うんですけど、私たちの白いリボンは女性の健康と権利を守っていくということで、これを啓発するウェルネスリボンです。これは私たち2001年から、日本のパートナーになりましたアライアンスパートナーで、日本では私たちが推進してるという団体になります。これを女性の健康と権利というポジティブなんですけど、これをどうやって啓発するのかということになるのが、今日兼子さんからのお話があったホワイトリボンランです。走るということをやっています。これはちょっと後程説明します。そして、「ジョイセフ」が活動しているこれは

2022年から24年です。活動を今、世界10か国で行っております。その一つに日本があるということですね。主に開発途上国に全部駐在スタッフを置いて活動しております。今、実は1分に1人女性が予防できるはずの死因で亡くなっているという現実があります。これはどんな事で亡くなるかということ、妊産婦死亡。それから、子宮頸がんが亡くなるという現実があります。特に10代の女の子たちの最大の死因原因は、妊娠、出産、中絶。特に、意図しない妊娠や出産、こういった事で亡くなっている女性が沢山いるということです。そして、この色が濃い所に関しては、10万人あたり妊産婦死亡率で色になっておりますが、この色が付いてる濃い所を「ジョイセフ」は主に支援をしております。そして、子宮頸がんはヒトパピローマウイルス、HPVというワクチンが皆さんもご存じだと思うんですが、これのキャッチアップ接種。日本が一時止めましたが再開しますということでニュースにもなりましたが、こういった予防できるがんの中でも唯一のがんなんですけども、この子宮頸がんがまだまだ実は広がっているということです。そして、日本では子宮頸がんが亡くなるという方が毎年約2900人いると言われておまして、先進国でも日本だけです。このグラフ見ていただくとわかると思うんですけども、紫の所。日本が上がっているんです。この先進国の中でも日本は毎年こういった9000人が罹患するという状況があります。ちょっと話が戻るんですけど、「ジョイセフ」は実は家族計画、高度成長期に子供たちが沢山生まれた時期があったの皆さんご存じだと思うんですが、家族計画というものが生まれまして、出産による安全でない出産、家庭で皆さん当時は子供産んでいらっやっや、安全な出産ができずに命が亡くなるということがありました。そこで、間隔をあけて計画的に出産をしましょうということを私たち取り組んでおまして、そこでこのノウハウを開発途上国に持っていくということで、いわゆるODAといわれる政府、国の機関、JICAとかそういった国連との連携で活動しているという、そういった組織になっております。このジェンダーギャップ指数、皆さん聞いたことあると思うんですが、こういった経営者の皆様では会社でも意識されていらっやるところだと思うんですが、日本はですね、このG7の中でG7で最下位となりました。そして、118位。この評価というのは、いろんな分野、経済的なところ、政治、健康、教育、こういった分野に分けられているんですけども、特に政治のところ、ここに関しては本当に日本は遅れているという状況になっております。「ジョイセフ」が主に何を

やっているかという、大きくまとめると3つです。先程申しあげたSRHRの知識と情報を届ける。そして、保健サービスの質の向上。持続可能な地域保健です。日本でいうと保健所というのが自治体にもありますが、開発途上国ではこういったことがなくて、こういうのを地域に作っていくということを私たちはサポートしております。こういったツールを使って、女性の体で女性はこういう体の中でこういう事が起きているということを女性に教える。そして、そういったリーダーを育成していく。そして、これを男性にも伝えてます。まだまだ開発途上国では予期せぬ妊娠があります。それは、男性にレイプをされる。そして、妊娠をしてしまう。そういったことで、子供が例えば4人いる24歳の方が全部パートナーが違う。そして、サポートしてもらえず貧困になる。こういった事がまだまだ当たり前のようにあります。なので、こういった保健サービスの質の向上ということで、しっかりそういった事を学んでもらう。このノウハウを実は日本の様々な企業様にご支援をいただいて、この絵が描いてあるお家みたいな所、マタニティウエイティングハウスということで、妊娠したらお腹が大きくなると皆さんまだまだ家庭で産む方がいて、それはとても危険ですということをお伝えし、それで臨月に入ったら準備に入る、そういった場所に医師と看護師、そういったスタッフを常駐させていつでもサポートができる所、体制をとってます。先程申しあげた保健システムの強化ということで、自立していけるように、こういった縫製を教えていたり、皆さんに学ぶ機会をしっかり届けるということを主にしております。そして改めて国内、日本はじゃ何をしていますかということなんですが、日本は先程申したSRHR、本当にこれは伝わってなくてですね、今回10月末に皆さんニュースで見たと思うんですが、国連で女性差別撤廃委員会

というのが8年に一回勧告を受けるという、日本の政府も行ったんですけど、そこに私たちもジュネーブまで行ってアドボカシー、ロビー活動をその審査委員の方に、レポートを出しました。どうして日本進んでいないのかという問題、40項目以上最大なチェックを受けました。選択的夫婦別姓すら進まないというような、こういったこともまだまだ大



きな課題になっている状況です。私たちは日本では若者の支援、それから子宮頸がんに関する取り組み、企業研修です、今日も経営者の皆さんが沢山いらっしゃると思うんですが、いろんな企業に行こうといったお話をすることを行っております。それから、もちろん災害の支援にも入っております。東日本大震災の時、実はこの東日本大震災をきっかけに「ジョイセフ」は国内支援を行うことになりました。そして、大事なアドボカシー。政府に対してもっと強く社会を変えていくための制度を変えてくださいということで、数年前にあった広島G7サミットの時は、W7という女性のリーダーたちのサミットを行ってございました。そこで、日本を代表して「ジョイセフ」が取りまとめを行うという事も行ってまいりました。ここからは、結構様々な取り組みをやってる事をちょっと羅列してるのでちょっと割愛させていただきますが、具体的にちょっとまだよくわからないということがあると思いますので日本の支援のところをお話しますと、若者の育成というところ。こういったものは行政からも委託を受けてリーダーの育成なども行っております。そして、この後お話しする「ホワイトリボンラン」。なんで走って寄付になるのっていう話をちょっとさせていただきます。そして、「思い出のランドセルギフト」。白河

西ロータリーさんのほうでもご後援いただいておりますこのランドセルギフトもですね、実は20周年を迎えましてもう20年やっております。学校教科書にも載ってありました時期もあるんですが、おおよそ25万個アフガニスタンの教育が受けられない子たちにランドセルを送るという、こういった事をしております。そして、企業様との連携というのも今日は経営者の皆様多いと思うんですが、皆様の私たち公益財団法人なのでご寄付をいただきますと、もちろん税制控除の対象となりますので、もちろんのこと領収書もお出しさせていただきます。こういった事が企業と連携ができるのかと申しますと、寄付をいただくことで私たちは寄付で成り立っております組織なので、それを資金としてこういった事に取り組みたいというメニューをご提示して一緒にアクションするという事をやっております。海外への支援をしたい。もしくは、日本で



こういうことに使っていただきたい、そういったこともいろいろご案内をさせていただきながら一緒に取り組みをして日本を変えていくということをやっております。わかりやすいのでいくと、例えばメーカーさん「ロッテ」、ガーナという所のガーナチョコレートです。ガーナチョコレートに私たちは支援をいただいて一緒にガーナを支援しております。また、皆さんご存じの「GU」というアパレルさん、そこと一緒に、女性の支援のショップで全国一斉に行うということや、「カシオ」のG-SHOCK。これは国際女性モデルというのを作ってらっしゃいまして、こういったことを寄付、生産分の全部を私たちの寄付、一部を寄付をしていただくということ。それから、スポーツブランドの「ゴールドウィン」というところと一緒に商品を作るということ、寄付付き商品ですね。こういった事が一番わかりやすいかなと思っております。ちょっと駆け足になったんですけど、この後改めて「ホワイトリボンラン」についてお話をさせていただきます。今日のこの話は是非、皆さん持ち帰っていただいて会社で皆で参加していただけるアクションなので、是非お願いしたいと思います。この「ホワイトリボンラン」というムーブメントを作ってます。これは何をしてるかと言いますと、実は2025年、皆さんご存じでしたかね。国際女性デー50周年というご存じだった方いらっしゃいますか。あら皆さん、ちょっと覚えておいてください。実は制定50周年を迎えます。これ一つの大きな節目で私たちいろんな所から問い合わせ、今来ています。50周年迎えるのであれば、私たち企業も何か応援したいというところで応援をいただいています。これは女性たちが運動したことから始まったニューヨークで始まった取り組みで、3月8日がこの国際女性デーというふうに制定されています。私たちはここに向かって何かアクションをしようと立ち上がったのはまさに震災後でした。震災の時に私たち支援に入ったんですけども、ある女性67歳の女性からのエピソードでした。その女性と娘さんとお孫さんと皆で逃げていた。津波に襲われた時に逃げていた途中で、津波に襲われてお子さんがお孫さんですね。その67歳の方からみたらお孫さんを屋根に上げて、そしたら娘さんは力を尽きて

津波に飲まれて亡くなるという状況があって、この67歳の女性の方は私たちにアドバイスをいただいて、あなたたち本当に体力を付けなさいと。何かあった時に逃げられなかったら駄目だと。なので、体力、そして走る力、これこそまさに女性が持っていかなければいけない。そうしないと災害時、そして避難所でも頑張っていけない、体力が必要だということで、じゃあ走ろうということで私たち「走ろう自分のために誰かのために」ということでアクションが始まりまして10周年を迎えます。毎年、この集めた収益、皆さんの参加費の収益の全額を寄付します。その予算でじゃあ何をするかということで、今回ケニアと日本の支援をします。実は10回目で初めて日本の支援をします。もう一番取り組まなきゃいけない海外の主に途上国の支援をこの予算を使わせていただいてたんですが、今こそ日本だということで2025年は日本とケニアの包括的性教育に取り組みます。この包括的性教育という言葉だけは聞いたことあるけど、一体何ぞやということまだまだ問われているところです。学校の教科書、学校では性教育をしないと日本は言ってます。しかし、すべてこの包括的性教育って何ぞやとなると、これ命の教育なんです。皆様が生まれて育っていく体の成長と年を重ねていく間に、健康に関する様々なことが起こります。女性は生理があったり、そして妊娠もするかもしれない。そして、パートナーが出来て性交渉がある。そんな時に性感染症になってしまう。そして、自分の心ではもしかしたら同性愛になっていくかもしれない。様々なことが命の教育なんです。これに関することを日本でもっと伝えるために全国に私たちはアクションをします。はい、そのために今日理事のリーダーの方にお渡ししたノートなんですけど、これ実は330円で販売してまして、これを1万人に届けようと今思っています。ただ、渡して終わりではなくてこれの中には性教育に関すること書いてあります。目標予算、今2千万集めています。そして、こんな取り組みをしたいということで、アクションします。そして、私たちが集めたお金だけではまだ足りないの、実は東京マラソン、名古屋ウイメンズマラソン、大阪マラソン、そして渋谷でやります。渋谷・表参道ウイメンズランです。こういった所からも本当に大きな寄付をいただいています。全部集めて2千万。そして、2万人の人にこれのアクションに参加してもらおうということで今行っています。もう3月は、私たちホワイトリボン月間ということに決めてます。それは何故かということ、厚生労働省が3月1日から3月8日は女性の健康習慣というように決めているんです。ただそれ全然知られてい

**WHITE RIBBON RUN** ホワイトリボンラン 2025  
3/1-3/31

女性の健康習慣を伝える  
「走る」は、健康の習慣を身につけるために、自分らしく  
走り続けることが目標です。自分らしく  
走り続けることが目標です。自分らしく  
走り続けることが目標です。

2024/10/21(日) - 2025/1/20(日)

種別	参加料	ウェア
フルマラソン	5,800円	なし
半マラソン	4,000円	なし
10kmラン	3,000円	なし

主催：株式会社 日本女性健康協会  
協賛：株式会社 日本女性健康協会

お問い合わせ：03-5561-1111  
ウェブサイト：white-ribbon.org/white-ribbon-run/

ないんです。なので、会社に持ち帰って、この3月1日から8日は女性の健康習慣なんだねということで、しっかり皆様とも話していただきたいと思います。この3月にちょうど、いろんな大会がマラソン大会あります。そこで私たちはそのファンドレイジングです。寄付をいただいて、それを全部2025年に資金として活用させていただくということにしております。そして、今日何故ここへ来たかという本題なんですけど、実はこの私たちのアクションというのは全国一斉に行います。約5千人目標。前は4千3百人くらいだったんですけど、今回は5千人目指して今参加エントリー募集しております。それがチラシを皆さんお手元にお配りしてるんですけども、毎回このTシャツが付いてきます。今回は「ノースフェイス」というところとコラボになりました。実は皆さん「ノースフェイス」ね、アウトドアブランドご存じだと思うんですけど、なかなか「ノースフェイス」さんは他とコラボレーションしないんです。なんですけど、女性支援応援するということが私たちと連携していただきました。そして、「ノースフェイス」とオリジナルTシャツを作って5,500円エントリー費の中にTシャツが付いてきます。これを着てアクションしてくださいというお願いになります。そして、私たちこの分布に出ています。北海道から沖縄まで31都道府県の県が一緒に動いています。この中で実は福島県がないんです。それは何か私もこの担当としては、福島県のほうにアクションを作りたいと思っていて、今日こういった形でお邪魔させていただいております。参加方法、私たちこのいろんな名前が書いてあるんですけど60か所。「ジョイセフ」と一緒にアクションするよというリーダーが60か所いまして、この方たちが自分たちのコミュニティ、地域で、例えば白河市の中で一緒に3キロから5キロ走るというようなアクションしてもらおう。ゆるく走ることなんですけど、これに賛同する人が同じ日に集まるということに意味があるということになってます。そして、私たちスローガンは「走ろう自分のために誰かのために」。自分の為であり、まずは自分でそして誰かのためにアクションするチャリティランになってます。3月に開催をさせていただきます。参加方法なんですけど2つありまして、拠点ランというさっき申し上げた60か所のリーダーたちと自分の行きたい場所。実は白河市に住んでるんだけど、私渋谷に住んでおまして、渋谷に行きたいと思ったら、もちろん来ていただくこともOKです。それをエントリーする所で選択するようになってます。もう北海道、それこそ雪降っております。秋田も雪のある中で開催。新潟も昨年雪積もってる中

でやってくださいました。秋田は吹雪で中止になってしまいました。唯一中止になっちゃったんですけども。まだ福島県の開催場所が実はないというような状況になってます。バーチャルランという参加方法は、もう自分一人で好きなタイミングで走るということもできます。エントリーしていただくだけが寄付で、走るの嫌だけど歩くでもいいんです。皆さんがこの時期と一緒にアクションしていただくことをSNSで投稿していただく。ハッシュタグで投稿することで、皆様一人の動きが全部に広がるということになってます。5,500円のエントリーで行っております。お金は1,180万集まりました。そしてさっき申し上げた東京マラソン、名古屋ウイメンズマラソン、渋谷・表参道ウイメンズランからもお金をご支援をいただいて1,180万集まりました。参加した方70パーセント女性でした。昨年2024で、前は4334人の方にアクションしていただいて、また福島県がまだ入っていなかったという状況になっております。沢山のメディアにも、こうして取りあげていただいて、ラジオ、テレビ、それから新聞にも取りあげていただいております。こういった方で地方で皆さんが本当に沖縄、そして屋久島と。西は本当に長崎とか、そういった所の方も一生懸命集めていただいて、みんなでこういったアクションをしているというような活動になります。そして、私たちはタレントの方も沢山応援いただいております。今、伊藤健太郎さんと言ったら皆結構ご存じの方いらっしゃるんですけど、伊藤健太郎さんもずっと応援していただいております。70万回再生されてます。そしてハッシュタグ、さっき言いましたSNSで投稿するハッシュタグを付けていただくのに、Instagramに皆さん主にやっていただくんですが、これで3732投稿、1投稿100円の寄付をいただいておまして373,000円位集まりました。そして、こういった企業の皆様には毎年参加いただいているんですけど、今年2025は過去最高最多記録を作りまして12社の企業様に応援をいただいております。昨年はこういったタレントの方。実は小池都知事もですね、メッセージいただきました。それから、スポーツの方、アスリート、タレントの皆さん、私たち皆さん大河ドラマでもご存じの富永愛さん。ご存じですかね、皆さん。富永愛さん、私たちのサポーターにアンバサダーになっているんですけども、ご本人100パーセントボランティアでもうずっと応援していただいております。こういった方からもメッセージを貰いながらずっと開催をしております。そして、これ1万5千人のアクションがありまして、ちょっと見づらいですけどステッカーをですね、私たち配布してる

んですよ。これ洋服に付けれるステッカー。昔はね「がんばろう！日本」という、ああゆう物を付けてアスリート、サッカー選手も試合に出るとかあったと思うんですけど、これをランニング走るといことで私たち配ってまして、3月1万5千人に配りましてこういったいろんな大会で貼っていただいてアクションがありました。そして、沿道応援にも行ってですね、もうみんなでこのムーブメントを作るといような、こういった形でずっと取り組みをしております。私たちは青空が似合うアクションといことでずっと行っております。海外の方達もエントリーしていただいて、みんなで一斉に行うアクションとなっております。一方的なお話ばかりで恐縮だったんですが、今日福島県で

一人でも多くの方がですね、参加をしていただいてホワイトリボン知っていただくといことに、是非白河西ロータリーの皆様から福島県にムーブメントを是非作っていただきたいと思ひます。また、エントリーの仕方とかわからなければ、いつでもわたくしも皆さんサポートできると思ひますので、どうか私たちと一緒に3月はアクションをお願いしたいと思ひます。一方的でしたがご清聴ありがとうございました。引き続き応援よろしくお願ひします。



## 第6回 理事会

日時 令和6年12月5日(木)

### 【報告事項】

1. 県南分区IMについて  
令和7年2月2日(日)  
エクシブ那須白河にて開催  
午前中に新入会員セミナー
2. クラブ細則の一部改正(案)審議について  
12月12日の年次総会時から令和7年1月23日(木)の例会時に臨時総会を開き審議する
3. 退会の件  
令和6年12月31日付で退会届け  
鈴木信教会員 寄付金100,000円を頂く

### 【審議事項】

1. 年賀広告協賛の件  
福島民友社・福島民報社  
各社11,000円(税込み)  
**全員一致で承認**

## 2024-25年度 白河西ロータリークラブ

令和6年12月5日

白河西ロータリー会員 各位

会長 阿部 克弘  
幹事 十文字光伸

### 本会クラブ細則の一部改正について(案)

会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。  
表題の件につきまして、令和7年1月23日(木)例会の中で臨時総会の場を設け、議案として【細則第11条会員選挙の方法】の一部改正についてご提案致します。細則等の改正についての提案です。事前に会員の皆様方に周知いたしますので、ご審議の程よろしくお願ひ致します。

#### 【細則 第11条会員選挙の方法 第5節】

##### 《現行》

被推薦者についての発表後7日以内に、理事会がクラブ会員(名誉会員の除く)の誰からも、推薦に対し、理由を付記した書面による異議の申し立てを受理しなかった場合は、その人は、名誉会員でないなら、本細則に定める入会金を納めることにより、会員に選ばれたものとみなされる。理事会に対し異議の申し立てがあった場合は、理事会は、次の理事会会合において、この件について票決を行うものとする。異議の申し立てがあったにもかかわらず、入会が承認された場合は、被推薦者は、名誉会員でないなら、所定の入会金を納めることにより、クラブ会員に選ばれたものとみなされる。

##### 《改正(案)》

会長は被推薦者の承諾をもって例会場内に2週間、会員入会申込用紙を掲示し会員に告知するものとする。例会場告知後2週間以内に、理事会がクラブ会員(名誉会員の除く)の誰からも、推薦に対し、理由を付記した書面による異議の申し立てを受理しなかった場合は、その人は、名誉会員でないなら、本細則に定める入会金を納めることにより、会員に選ばれたものとみなされる。理事会に対し異議の申し立てがあった場合は、理事会は、次の理事会会合において、この件について票決を行うものとする。異議の申し立てがあったにもかかわらず、入会が承認された場合は、被推薦者は、名誉会員でないなら、所定の入会金を納めることにより、クラブ会員に選ばれたものとみなされる。

##### 【改正の理由】

- 現状のやり方に合わせた改正とした。

##### 【改正期日】

- 令和7年1月23日一部改正施行(細則第11条第5節)

以上

(事務担当 幹事：十文字光伸)